



空港と港湾を担当してもう少しで半年になります。実は、港湾・空港を担当するのは初めてで、これまで外から見て考えていたこととはちょっとズレがあるなと感じている次第です。

その一つは、これまでいわて花巻空港を利用するのはほとんどが岩手県内に住んでいる人だと思っていたのですが、実際は空港を利用する人の約60%が県外の人だということです。そうすると、岩手県にビジネスで来る人についてはそのビジネスの世界で、観光目的で来る人については観光関係の分野で、岩手県の産業経済に寄与することになります。

いわて花巻空港の定期便は、札幌、名古屋、大阪、福岡とかなり遠い所から就航していますので、特に観光が目的の人は、いわて花巻空港がなければ岩手県に来ないという人も多いに違いありません。また、近年、チャーター便で海外からいわて花巻空港に来る人がすごい勢いで増えていますが、その人たちについては言うに及ばずだと思います。

そう考えると、いわて花巻空港の利用を促進するという事は、岩手県内の企業のビジネス範囲が広がるという点やさまざまな広い地域から観光で岩手県に来る人が増えるという点で、岩手県の産業の振興に寄与しているということになります。

ということで、いわて花巻空港の利用促進にあたっては、岩手県民にとっての利便を向上させることはもちろんですが、さまざまな地域の人たちに岩手のビジネスの世界や観光資源の魅力をPRして岩手県に来てもらうことも必要だと感じているところです。

二つ目は、港湾についてですが、港湾を利用するのは、その港湾の周辺の企業で内陸の企業は鉄道や道路を利用するものとばかり思っていました。ところが、内陸の企業でも仙台や八戸からは船を利用して貨物を輸送していることが多いというのです。そして、そのような企業からは、時々、条件さえ整えば岩手県内の港湾を利用して貨物を輸送したいという声が聞こえてきます。

こういうことから、海と陸との物流ネットワークの構築が必要だということで、道路建設課や道路環境課をはじめ関係機関と連携して、内陸と沿岸を結ぶ道路の改築や道路環境の整備を進めています。そのように港湾を使いやすい環境を整備することによって、港湾が岩手の産業の振興に寄与できると考えています。

これら二つの例のように、実際に担当してみると、港湾にしても空港にしてもマーケットや効果の及ぼす範囲が、外から見ていたときよりもかなり広いということ気付かされました。そして、マーケットや効果の及ぼす範囲をできるだけ広くとらえて空港や港湾の利用促進をすすめることが岩手の産業の振興により大きく寄与することと考えはじめたところです。

9・10月  
主要行事

● 北上川Eポート大会

- 期日 9月11日(日)
- 時間 9時～15時45分
- 場所 川崎村
- 担当 千厩地方振興局土木部

● 住民参加NPO協働地域懇談会

- 期日 9月20日(火)
- 時間 13時30分～15時30分
- 場所 大船渡地区合同庁舎
- 担当 大船渡地方振興局土木部

● 建設業地域懇談会(水沢)

- 期日 9月8日(木)
- 時間 13時30分～16時
- 場所 水沢地区合庁
- 担当 建設技術振興課

● 岩ノ下橋開通記念式典

- 期日 9月15日(木)
- 時間 11時～12時
- 場所 東山町
- 担当 千厩渡地方振興局土木部

● 岩手県港湾審議会

- 期日 9月21日(水)
- 時間 13時30分～15時30分
- 場所 エスポワールいわて
- 担当 港湾空港課

● 建設業地域懇談会(一関)

- 期日 9月9日(金)
- 時間 9時～11時30分
- 場所 一関地区合同庁舎
- 担当 建設技術振興課

● 建設業地域懇談会(岩泉)

- 期日 9月16日(木)
- 時間 13時30分～16時
- 場所 岩泉地区合庁
- 担当 建設技術振興課

● スポレクいわて2005 開会式

- 期日 10月1日(土)
- 時間 12時30分～14時
- 場所 北上市
- 担当 教育委員会

● 建設業地域懇談会(千厩)

- 期日 9月9日(金)
- 時間 14時～16時30分
- 場所 千厩地区合同庁舎
- 担当 建設技術振興課

● 岩手川づくりプラン懇談会

- 期日 9月16日(金)
- 時間 13時15分～16時
- 場所 県民会館
- 担当 河川課

● 鷹生ダム自然との共生検討会議

- 期日 10月3日(月)
- 時間 13時30分～15時30分
- 場所 鷹生ダム建設事務所
- 担当 鷹生ダム建設事務所